

令和3年度 学校自己評価システムシート（県立志木高等学校）

目指す学校像	志木高スピリット（立志・言志・続志）の下、高い志を持ち、自分の夢を実現できる学校
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 学習習慣の確立と授業改善により、主体的な学びを推進し、学力を向上させる。 志木高スピリットを醸成させ、夢の実現に向けたセルフマネジメント力を身につけさせる。 安心・安全な学校生活を保障し、学校生活に誇りと自信を持たせる。 地域とともに歩む、魅力ある高校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標			年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)				実 施 日 令 和 3 年 2 月 1 7 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	<p><現状> 授業公開週間や教員研修を実施するなど、学校全体で授業改善に取り組む意識が醸成されている。令和2年度末に各H R教室にプロジェクター、W i - F i 環境が整い、Chrombookが配備され、I C T を活用した授業が実施可能となった。</p> <p><課題> コロナ禍の中で、急速に進展する情報化社会を主体的に学び、生き抜く力の育成が重要となっている。学習習慣の確立とともに、I C T を活用した授業の工夫・改善が必要となっている。</p> <p>また、新教育課程の円滑な実施に向け教育内容、観点別評価等の研究・整備が急務となっている。</p>	<p>②生徒一人一人が主体的に学ぶ学習支援の体制の充実、授業改善の取組</p> <p>②新教育課程の円滑な実施に向けた取組</p>	<p>①・各教科が連携し、I C T を活用した授業改善に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートの実施方法、活用を研究し、教員と生徒の双方から授業改善を体制を作る。 ・授業公開週間において教員相互で授業を見合い、授業改善について協議する。 ・HP及びGoogleClassroomを活用した自宅学習の支援、個別指導のあり方を研究、実施 ・学年及び教務が連携し、「Shikidiary」を活用した学習習慣の確立及び、自己管理指導に取り組む（通年） <p>②・教育課程委員会を中心に全校体制で取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R 4 年度入学生の教育計画、評価計画、シラバス作成及び履修指導計画の立案 ・観点別評価の研究・整備 	<p>② I C T 活用研修の実施状況、授業実践状況</p> <p>授業アンケートの改善、検討状況及び実施状況</p> <p>教員相互の授業参観の延べ回数</p> <p>研究協議の実施状況</p> <p>HP・GoogleClassroom活用状況</p> <p>課題提示回数、動画配信状況</p> <p>各教科、H R 担任による手帳活用指導の状況</p> <p>手帳活用ガイダンス実施、通信発行状況</p> <p>新聞の各教科における活用状況</p> <p>②教育課程委員会、研修会、各教科会等の実施状況</p> <p>シラバスの内容及び進行状況</p> <p>観点別評価の整備状況</p>					
2	<p><現状> 志木高スピリット「立志・言志・続志」は学校全体で共有され、根付いてきているが、自学習、家庭学習時間の確保には、まだたがっていない。進路指導に関する毎年の各行事は定着している。コロナ禍で進路活動にも制約が生じるとともに、I C T の活用が不可欠となってきている。</p> <p><課題> 生徒の進路意識を高め、日々の学習につなげていく必要がある。各学年でそれぞれの進路行事の目的を共有し、教職員間の共通理解を図っていく必要がある。また、I C T を活用した進路情報の発信及び保護者との更なる協働体制が必要である。</p>	<p>①進路意識を高め、高い志の育成、志を実現する学力向上、セルフマネジメント力を育成する。</p> <p>②保護者の進路意識を高め、家庭と連携した進路指導をおこなう。</p>	<p>①・志木高スピリット（立志・言志・続志）を常に学校全体で共有することにより、進路目標の明確化、日々の学習への目的意識向上に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間・新聞活用事業を活用し、社会的視点を醸成し学びに向かう態度を育成する。 ・「Shikidiary」を活用し、時間の管理、学習項目の整理等、セルフマネジメント力を育成する ・早期から計画的な準備・対策ができるよう、模試、補講等の指導体制を整える。 ・自習室、I C T の活用等、生徒の進路希望に応じ、学習習慣の確立に向けた支援を行う。 <p>②・HP等を活用し保護者向けに進路情報を提供し、保護者の進路意識を高め、「保護者・生徒・学校」の協働により進路実現をサポートする。</p>	<p>①志木高スピリットを自覚している生徒の割合</p> <p>模試の参加者人数、補講開講数および参加者人数</p> <p>自習室の活用状況</p> <p>家庭学習（自学習）時間の状況</p> <p>進路希望具体化の状況</p> <p>生徒・保護者の進路指導に対する満足度</p> <p>②保護者の学校行事等への参加状況</p> <p>保護者向け進路行事実施状況（年2回以上）</p> <p>進路情報の発信（HP、スマート連絡帳年5回以上、進路通信年2回以上）</p>					
3	<p><現状> 注意喚起や見守り指導により、落ち着いた学校生活は確保できているが、SNSによるトラブルや交通事故等の未然防止には至っていない。コロナ感染予防対策は一定の成果を上げている。</p> <p><課題> 学校内外での危機管理能力を育成し、トラブルを未然に防ぐことが課題である。また、学校生活に誇りを持たせるためには、生徒に自己有用感を持たせるとともに、個に応じた指導体制及び、教育相談の充実が必要である。またコロナ禍における学校行事・部活動の充実について、新たな発想や工夫が必要となっている。</p>	<p>①事故防止と良好な人間関係づくりを支援し、安心・安全な学校づくりを進める。</p> <p>②生徒の自主的な取り組みを支援し、学校生活に自信を持たせる。</p>	<p>①・P T A、地域と連携するなど、校内外における交通安全指導を実施し交通マナーに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯・スマホマナー教室の実施やポスターの掲示等によりSNSによるトラブルを防止を啓発する。 ・スクールカウンセラーを活用し、教育相談を充実させ、全職員の共通理解の下、個に応じた指導体制を作る。 ・探究プログラム委員会を中心に自他を尊重する心を育む教科横断的な学び、探究活動に取り組む。 ・家庭と連携し、新型コロナ感染予防対策を適切に行い、感染拡大防止に取り組む。 <p>②・コロナ禍の中で感染拡大防止の観点から安全・安心を最優先とし、学校行事や地域交流活動の運営に、生徒会を中心に生徒が参画する体制を作り、生徒の自己有用感を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や部活動で成功体験を積み、学校への帰属意識を高める。 	<p>①校外交通安全指導の実施状況</p> <p>年間重大交通事故件数</p> <p>携帯・スマホマナー教室実施状況</p> <p>サイバーパトロールからの報告件数</p> <p>スクールカウンセラーによるカウンセリング、特別支援委員会における情報共有の実施状況</p> <p>人権感覚プログラム、在り方生き方教育等の実施状況</p> <p>感染予防対策実施状況</p> <p>②学校行事の実施状況</p> <p>地域交流活動や地域貢献活動の生徒の参加状況</p> <p>学校行事・部活動に意欲的な生徒の割合</p>					
4	<p><現状> コロナ禍で地域交流活動が制限される中、ホームページ等、様々な媒体をととして、本校の魅力を発信し、保護者・地域との交流を積極的に進めたい。</p> <p><課題> 地域とともに歩む学校となるためには、本校の教育力を地域に発信し、開かれた教育課程を実現する必要がある。コロナ禍の中での地域交流のあり方について、検討していく必要がある。</p>	<p>①志木高校を中心とした地域交流の輪を広げ本校の教育力を地域に発揮する。</p> <p>②保護者、地域に向けて志木高校の魅力を積極的に発信する。</p>	<p>①・本校を会場とした地域交流活動「志木高倶楽部プロジェクト」を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中の地域連携について課題を明確化し実施に向けた方策を立てる <p>②HPを本校の教育活動や魅力を地域に発信・交流する場とするとともに、生徒、保護者にとって有益な情報交流の場として活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会、部活動公開等を充実させ、地域の保護者、中学生に本校の魅力を積極的に発信する。 	<p>①「志木校倶楽部プロジェクト」実施状況及び生徒の参加状況</p> <p>コロナ禍の交流活動の検討状況</p> <p>②学校ホームページの更新、活用状況</p> <p>学校説明会、部活動公開の実施回数、参加状況</p>					